

5.15 沖縄平和行進参加報告書

東北地方秋田支部 青年部長 小玉 聖也

沖縄平和行進に初めて参加しました。

毎年報道されるニュースやSNSなどで5月15日に沖縄が返還された事は知っていましたが、今回初めて現地を見て、沖縄は返還されたが米軍基地がまだまだ沢山あることで、本当に返還されたうちに入るのかと疑問に思いました。

毎日のように戦闘機やオスプレイなどが沖縄県民の頭上を飛んでおり、いつ墜落事故に巻き込まれてもおかしくない現状であることを知りました。また米軍基地が関係する事件や事故が絶えない事も知りました。

ひめゆり平和祈念資料館、旧海軍司令本部壕を視察しました。沢山の日本兵や沖縄県民が犠牲となったことを知り、胸が締め付けられる思いになりました。

平和行進では、三単産が団結し大きな声を上げて行進しました。本来より短い距離だったのですが体力的に辛い場面がありました。右翼からの妨害もありましたが、地元住民からの声援、全港湾の仲間達のおかげで乗り切れることができました。

現在、ロシア、ウクライナの戦争や北朝鮮のミサイル問題がある中で、米軍基地がある日本が攻撃に遭う可能性も充分ありえます。沖縄から米軍基地が無くなることで、その可能性が少しでも減るのならこの平和行進を続けていかなければならないと思います。

今回、体験した貴重な経験を自分の家族や支部の人達に伝えていきたいです。